



2022年5月13日

各位

会社名 B C C 株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊藤 一彦
(コード番号：7376 東証グロース)

問合せ先 常務取締役管理本部長 岡林 靖朗
(TEL 06-6443-7878)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年2月14日に公表いたしました2022年9月期の通期業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年9月期 通期業績予想数値の修正 (2021年10月1日~2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,299	百万円 143	百万円 142	百万円 100	円 銭 90.43
今回修正予想(B)	1,132	43	45	30	27.11
増減額(B-A)	△166	△99	△96	△70	
増減率(%)	△12.8%	△69.8%	△68.2%	△70.0%	
(ご参考) 前期実績 (2021年9月期)	1,123	130	113	76	82.99

2. 修正の理由

IT 営業アウトソーシング事業のうち営業アウトソーシング事業において、第2四半期以降、派遣期間の短期化が顕著となっており、計画を下回る見込みとなりました。また、新型コロナウイルス感染症発生以来、派遣人員のテレワーク勤務体系により時間外収益が増加していましたが、第2四半期以降にテレワーク勤務体系が段階的解除されつつあり、その結果、増加していた時間外収益が想定外に減少しており、計画を下回る見込みとなりました。IT 営業アウトソーシング事業のうちソリューション事業においては、世界的な半導体不足等により、ネットワーク関連機器の提供の遅延のため受注高が減少しており、計画を下回る見込みとなりました。その結果、IT 営業アウトソーシング事業においては前回発表予想と比較し、売上高 14.5%の減少、営業利益 34.5%の減少の見込みとなりました。

ヘルスケアビジネス事業のうち介護レクリエーション事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響によ

り介護施設向けの研修の中止等が今後も継続する見込みとなり売上高 2.1%の減少、運営費の増加により営業利益 66.5%の減少の見込みとなりました。

利益面につきましては、中長期的成長を見据えた IT 営業人材の採用の前倒しによる人件費の増加（前回発表より 17.7%増）、売上高の減少により、計画を下回る見込みとなりました。

また、この度の業績予想の修正により派遣業務請負人数の期中平均を 135 名（前回発表時）から、121 名としておりますが、来期以降の中長期成長を見据え IT 営業人材の採用の前倒しを計画しております。

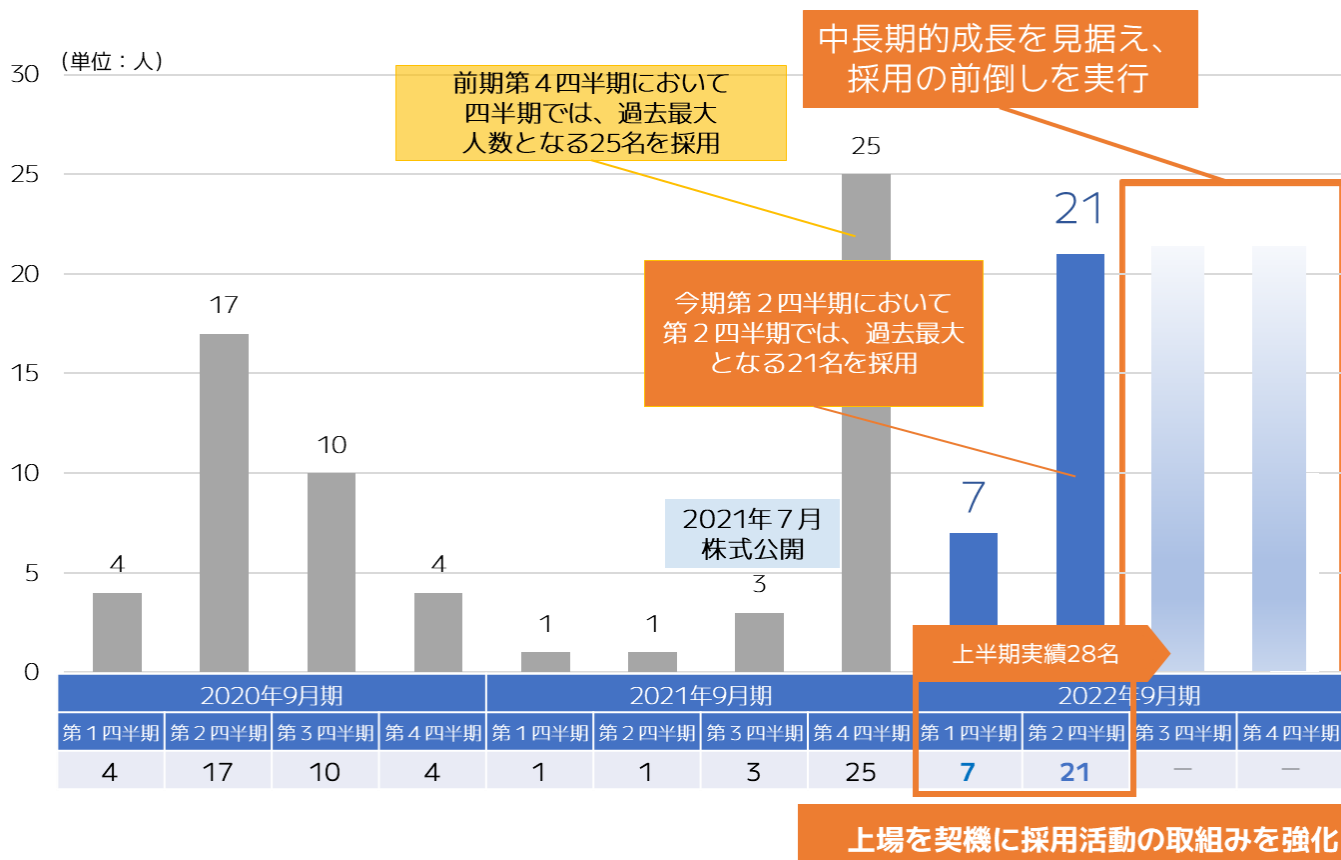
なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、2022 年 9 月期中は新型コロナウイルス感染症の影響が続くと見込んで算出しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

3. IT 営業人材の採用の前倒しについて

当社は、大手 IT 企業の営業部門を強化または補完するため、IT 営業人材の派遣を中心とした営業支援サービスを提供する営業アウトソーシング事業を行っております。2021 年 7 月 6 日の東京証券取引所マザーズ市場（現東証グロス市場）上場の効果もあって前期（2021 年 9 月期）第 4 四半期においては、過去最大人数となる 25 名の IT 営業人材の採用を実現いたしました。また、今期（2022 年 9 月期）第 1 四半期においては 7 名を採用し、第 2 四半期においては 21 名を採用と過去の第 2 四半期の最大採用人数 17 名を上回る結果となり、上半期合計 28 名の採用を実現しました。

人材の採用こそが成長の源泉であり、採用が順調なこのタイミングで IT 営業人材の採用活動の前倒しを図ることが、中長期的な営業アウトソーシング事業の成長に繋がると考えております。

■営業アウトソーシング事業における採用人数推移



以上